

あつめぎたより



「あつめぎたより」は厚木市立病院から医療機関などのみなさまにがんに関するお知らせをするお便りです。

新年あけましておめでとうございます

本年も皆様のご支援、ご協力を賜れますよう何卒よろしくお願ひ申し上げます。

「頼れるチーム 寄りそうココロ」



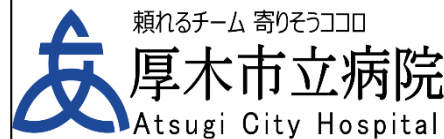
これからも
よろしくお願いします。



厚木市立病院の開設 20 周年を記念してタグラインを募集したところ、全国各地から多数の応募がありました。

タグラインに込められた思いは「私たち厚木市民の病院 “厚木市立病院”。家族が入院した際にも優しく親切な対応をしてくれた先生、そして良心的にサポートしてくれた看護師の皆さんへの感謝の気持ちと、この先もチーム医療で患者やその家族に寄り添ってくれることへの願いをこのタグラインに込めました」とのことでした。

この言葉は、チーム医療の大切さ、患者に寄り添った医療の提供が求められ、がん診療または緩和ケアを行うにあたり、改めて大切にしたい言葉であると感じています。



※ロゴも変更されています。

がんサロン「つくしんぼカフェ」のご案内

がんサロンは、がんと共に生活する患者さんやご家族の集いの場です。今年で 3 年目の新しいサロンですが、患者さんやご家族に協力していただきながら開催しています。患者さんたちにとって、気持ちを話せる場が必要であることを実感しています。

つくし（土筆）の花言葉は、「努力」「向上心」です。つくしは春になると土の中から顔を出します。そしてまっすぐに伸びていきます。成長が早くどどんと土の中から出てくるのが由来です。当院のがんサロンもつくしのように成長していきたいと思ひます。

がん患者さんやご家族が、病気のこと、生活のこと、それぞれの悩みや不安な気持ちを患者さんやご家族が気軽に話せる場所、ほっこりできる場所を提供できるように開催しています。感染予防対策を行い対面で開催しています。当院の患者さんだけでなく、どなたでも参加いただけますので、参加をご希望の患者さんやご家族がいらっしゃいましたら、ぜひご案内をお願いします。

参加は無料、事前予約は不要です。当日直接会場にお越しください。

日時：2024年1月24日（水）14：00～15：00

場所：厚木市立病院 2階会議室（コンビニ近くのエレベーターで2階へ）

ミニレクチャー：「リンパ浮腫のケアについて」当院の看護師の小高（緩和ケア認定看護師）から、リンパ浮腫のセルフケアについて、実際のケアについてお話しする予定です。その後患者さん同士の交流会を予定しています。



ACP について見直してみませんか？

ACP という言葉は、一般の方の中にもだいぶ知られてきているように感じます。しかし、がん患者さんやそのご家族との相談場面の中で、「これから先の人生をどのように過ごしていきたいか」「自分はどのような治療やケアを希望するのか」を考えることは難しいことなのだろうと感じることが多くあります。

患者さん本人や家族、医師などが、がんに限らず終末期の医療やケアについて事前に繰り返し話し合う「アドバンス・ケア・プランニング（ACP）」。「英語の「Advance Care Planning」の頭文字をとったもので「事前（Advance）にケア（Care）を計画する（Planning）」という意味があります。

<主な項目確認項目>

- 人工呼吸器や心臓マッサージなどの延命治療を望むかどうか。
- 最後のときをどこで過ごしたいか。
- 意識を失ったとき、代わりに誰に意思決定を委ねるか。

厚生労働省のガイドライン作成に携わった、ACPの第一人者で緩和ケア医の木澤義之先生は、「文書には相手がいない。でも、話し合いには相手がいて、深く理解できる。つまり、ストーリー性がそこにはあるし、その奥の価値観を理解することが非常に大きいんです。この人はどんな価値観に基づいて、こういう理由でこう考えるんだ、ということが話し合いによってよくわかります」と話していました。（NHK 福祉情報サイト ハートネットより <https://www.nhk.or.jp/heart-net>）



厚木市は、2023年7月に市民向けに「じぶんノート～心づもりの記録～」3,000部を発行しました。すでに予定数の配布は終了しており、市民のみなさんの関心の高さがうかがわれます。

患者さんやご家族は大きな不安を抱えている状況での意思決定を求められます。医療者として、どうすれば患者の本心をくみ取れるのか、その人生の最後を自分らしく生きるために必要なことは何だろうか、ということを考えながら、ACPの支援をしていきたいと考えています。

研修

「2024 厚木市立病院緩和ケア研修会」のご案内

緩和ケア研修会は、「がん等の診療に携わる全ての医師・歯科医師、緩和ケアに関わる医療従事者の方に 基本的な緩和ケアについて正しく理解し、緩和ケアに関する知識、技術、態度を修得することで、緩和ケアが診断の時から適切に提供されることを目的とした研修会」です。

今年度は、2024年6月に開催予定です。

ぜひ参加をご検討ください。

がん相談支援センターのご案内

がんに関する医療相談・医療連携に関するお問い合わせは、「がん相談支援センター」までお願いいたします。がん専門の相談員（看護師、医療ソーシャルワーカー等）や専門職が無料でがんに関する様々な相談（就労支援、経済面、治療のこと、緩和ケア等）に応じます。

利用方法：予約制（事前に電話でご予約ください）

<問い合わせ先> 厚木市立病院 がん相談支援センター

☎ 046-221-1570（代）

担当：熊元・亀谷



<編集後記>

2024年はオリンピックイヤーですね。昨年に続きスポーツで盛り上がる1年になりそうです。今年もスポーツを頑張っている姿に刺激を受けながら私も頑張っていきたいと思えます。穏やかな年になるように毎年恒例の愛犬と初詣に行ってきました。皆様にとって良い年になりますように心よりお祈り申し上げます。

本誌に関するお問い合わせは下記までお願いいたします。

編集・発行／厚木市立病院緩和ケアチーム 担当：渡部・小高
電話：046-221-1570（代） FAX：046-222-7836

